

# 令和5年度教育課程研究集会 中学校 保健体育

# 保健体育科における「指導と評価の一体化」 を進める授業改善について


## —「主体的に学習に取り組む態度」の評価の充実—

令和5年8月


奈良県教育委員会事務局

健康・安全教育課 学校体育係

指導主事 福井 栄作

※  は、『**学習指導要領 解説**』  
記載ページ数。



※  は、『**「指導と評価の一体化」のための  
学習評価に関する参考資料**』  
記載ページ。



# 主体的に学習に取り組む態度の 学習評価の充実

そもそも・・・保健体育科における「学びに向かう力、人間性等」とは、どんな資質・能力？

例) [体育分野] の目標 [第1学年及び第2学年]

P30

(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

上記の(3)は、学びに向かう力、人間性等の育成に向けた運動についての態度の具体的な目標をしめしている。

【 運動における競争や協働の経験 】

P32

授業の中でこれらの経験を通して!

【 ○公正 ○協力 ○責任 ○共生 】 などの意欲を育てるとともに、

【 ○健康・安全 】 に留意し、

【 ○運動に積極的に取り組み自己の最善を尽くして運動をする態度(愛好的態度) 】

を養うことを目指したものである

# 指導内容の重点化（学びに向かう力、人間性等）

P39～42

## 【「2 内容（3）学びに向かう力、人間性等」から第1学年及び第2学年の記述から抜粋】

●指導に際しては、人には誰でも学習によって技能や体力が向上する可能性があるといった挑戦することの意義を理解させ、発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりするなど、生徒が記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって取り組めるようにすることが大切である。（愛好的態度）

●各領域に応じて、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること。フェアなプレイを守ろうとすること及び相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすることを示している。（公正、伝統的）

●協力や責任に関する事項として、よい演技を認めようとする事及び仲間の学習を援助しようとする事、分担した役割を果たそうとすることを示している。（協力、責任）

●参画や共生に関する事項として、話合いに参加しようとする事、一人一人の違いを認めようとする事を示している。（参画、共生）

●健康・安全に関する事項として、健康・安全に気を配ることを示している。（健康、安全） 等

※それぞれの運動領域毎に更に細かく、具体的に〈例示〉で示されている。

愛好的  
態度

公正  
伝統的

協力

責任

参画

共生

健康・  
安全

# 指導内容の重点化（学びに向かう力、人間性等）

	体づくり 運動	器械 運動	陸上 競技	水泳	球技	武道	ダンス
愛好的 態度	○	○	○	○	○	○	○
公正 伝統的			○	○	○	○	
協力	○	○	▲	▲	○	▲	○
責任	▲	▲	○	○	▲	○	▲
参画	○				○		○
共生	○	○	○	○	○	○	○
健康・ 安全	○	○	○	○	○	○	○

# 指導内容の重点化（学びに向かう力、人間性等）

P176

	ダンス
愛好的 態度	○
公正 伝統的	
協力	○
責任	▲
参画	○
共生	○
健康・ 安全	○

- ・(愛) ダンスの学習に積極的に取り組もうとすること。
- ・(協) 仲間の手助けをしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとする事。
- ・(参) 簡単な作品創作などについての話合いに参加しようとする事。
- ・(共) 一人一人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようとする事。
- ・(健) 健康・安全に留意すること。



# 指導内容の重点化（学びに向かう力、人間性等）

P176

評価規準を作成する際のポイント

P44

	ダンス
愛好的 態度	○
公正 伝統的	
協力	○
責任	▲
参画	○
共生	○
健康・ 安全	○

- ・(愛) ダンスの学習に積極的に取り組もうと**している**。
- ・(協) 仲間の手助けをしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとして**いる**。
- ・(参) 簡単な作品創作などについての話し合いに参加しようとして**いる**。
- ・(共) 一人一人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようとして**いる**。
- ・(健) 健康・安全に留意**している**。

## 指導と評価の計画の作成までの手順

手順1：内容の取扱いを踏まえ、年間指導計画に各単元を位置づけ、単元の目標を設定する。

手順2：指導事項をバランスよく把握する。（解説の〈例示〉等を参考）

手順3：内容のまとまりにおける全ての「単元の評価規準」を作成する。  
（解説の〈例示〉文末を変更）

手順4：当該単元における「単元の評価規準」を設定する。  
（手順3で作成したものの中から選んだりする。）

手順5：当該単元における具体的な指導内容の明確化を図る。

手順6：指導と評価の計画を作成する。

# 指導と評価の作成までの手順

**手順1**：内容の取扱いを踏まえ、年間指導計画に各単元を位置づけ、単元の目標を設定する。

年間指導計画の例（中学校第1学年及び第2学年 球技）①～⑤は球技の単元

学年	時間	4		5		6		7		9		10		11		12		1		2		3												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
第1学年及び第2学年	105	オリ	理論	陸上競技 [10] 短距離・リレー [5] ハードル [5]	① 球技・ゴール型 バスケットボール・サッカー 選択2クラス2展開 [10]	水泳 クロール・平泳ぎのいずれかを含む2以上選択 [10] *外部指導者のTTによる協力		武道 (柔道・剣道のいずれかを選択) 2クラス2展開 [14] *外部指導者のTTによる協力		器械運動 マット運動 [7] 跳び箱・鉄棒・平均台より 1選択 [7] [14]		② 球技・ネット型 バレーボール・テニス 選択 2クラス2展開 [8]	スケート [6] 集中	保健(1)健康の成り立ちと疾病の発生要因/生活習慣と健康 [4] 体づくり運動 [2] 理論	保健(2)心身の機能の発達 [6] 保健(2)心の健康 [6]	陸上競技 [4] 長距離走	理論	体づくり運動 [3] 組み合わせ																
					③ 球技・ネット型 バレーボール・バドミントン 選択 2クラス2選択 [10]	水泳 クロール・平泳ぎのいずれかを含む2以上選択 [10]	④ 球技・ベースボール型 ソフトボール① ソフトボール② 2クラス2展開 [12]	ダンス 創作ダンス(9) フォークダンス(9) 2クラス2展開 [18] *外部指導者のTTによる協力	⑤ 球技・ゴール型 ハンドボール・サッカー 選択 2クラス2展開 [10]																									
	106	体づくり運動 [3]	理論	保健(1)生活習慣病などの予防/喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 [8]	体づくり運動 [2] 理論	保健(3)傷害の防止 [8]		陸上競技 [4] 長距離走		理論	体づくり運動 [3] 組み合わせ																							

## 【単元目標】の設定

学習指導要領「2 内容」から該当単元の目標となる部分を明示する。

例) 1・2年生【球技】の場合

- ・知識及び運動：P121～122
- ・思考力、判断力、表現力等：P126
- ・学びに向かう力、人間性等：P127～128

文末表現を【～できるようにする】として目標を設定する。

## 2. 学習評価の進め方(体育分野)

体育分野の領域及び内容の取扱い

領域及び領域の内容	1年	2年	内容の取扱い	領域及び領域の内容	3年	内容の取扱い
<b>【A 体づくり運動】</b>	必修	必修	ア, イ 必修 (各学年7単位時間以上)	<b>【A 体づくり運動】</b>	必修	ア, イ 必修 (7単位時間以上)
ア 体はぐしの運動				ア 体はぐしの運動		
イ 体の動きを高める運動				イ 実生活に生かす運動の計画		
<b>【B 器械運動】</b>	必修	2年間でアを含む②選択	②選択	<b>【B 器械運動】</b>	B, C, D, G, から①以上選択	ア～エから選択
ア マット運動				ア マット運動		
イ 鉄棒運動				イ 鉄棒運動		
ウ 平均台運動				ウ 平均台運動		
エ 跳び箱運動				エ 跳び箱運動		
<b>【C 陸上競技】</b>	必修	2年間でア及びイのそれぞれの中から選択	②選択	<b>【C 陸上競技】</b>	B, C, D, G, から①以上選択	ア及びイのそれぞれの中から選択
ア 短距離走・リレー, 長距離走又はハードル走				ア 短距離走・リレー, 長距離走又はハードル走		
イ 走り幅跳び又は走り高跳び				イ 走り幅跳び又は走り高跳び		
<b>【D 水泳】</b>	必修	2年間でア又はイを含む②選択	②選択	<b>【D 水泳】</b>	B, C, D, G, から①以上選択	ア～オから選択
ア クロール				ア クロール		
イ 平泳ぎ				イ 平泳ぎ		
ウ 背泳ぎ				ウ 背泳ぎ		
エ バタフライ				エ バタフライ		
オ 複数の泳法で泳ぐ又はリレー	オ 複数の泳法で泳ぐ又はリレー					
<b>【E 球技】</b>	必修	2年間でア～ウの全てを選択	②選択	<b>【E 球技】</b>	E, F, から①以上選択	ア～ウから②選択
ア ゴール型				ア ゴール型		
イ ネット型				イ ネット型		
ウ ベースボール型				ウ ベースボール型		
<b>【F 武道】</b>	必修	2年間でア～ウから①選択	①選択	<b>【F 武道】</b>	B, C, D, G, から①以上選択	ア～ウから①選択
ア 柔道				ア 柔道		
イ 剣道				イ 剣道		
ウ 相撲				ウ 相撲		
<b>【G ダンス】</b>	必修	2年間でア～ウから選択	②選択	<b>【G ダンス】</b>	B, C, D, G, から①以上選択	ア～ウから選択
ア 創作ダンス				ア 創作ダンス		
イ フォークダンス				イ フォークダンス		
ウ 現代的なリズムのダンス				ウ 現代的なリズムのダンス		
<b>【H 体育理論】</b>	必修	必修	(1) 第1学年必修 (2) 第2学年必修 (各学年3単位時間以上)	<b>【H 体育理論】</b>	必修	(1) 第3学年必修 (3単位時間以上)
(1) 運動やスポーツの多様性				(1) 文化としてのスポーツの意義		
(2) 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方						

P202

P231

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(2) 授業時数の配当については、次のとおり扱うこと。

- ア 保健分野の授業時数は、3学年間で48単位時間程度配当すること。
- イ 保健分野の授業時数は、3学年間を通じて適切に配当し、各学年において効果的な学習が行われるよう考慮して配当すること。
- ウ 体育分野の授業時数は、各学年にわたって適切に配当すること。その際、体育分野の内容の「A体づくり運動」については、各学年で7単位時間以上を、「H体育理論」については、各学年で3単位時間以上を配当すること。
- エ 体育分野の内容の「B器械運動」から「Gダンス」までの領域の授業時数は、それらの内容の習熟を図ることができるよう考慮して配当すること。

これは、指導計画を作成するに当たって配慮すべき事項として、各分野の授業時数及び各領域に配当する授業時数について規定したものである。

## 手順2：指導事項をバランスよく配置する。

①～⑤は2年間にわたる球技の単元

解説の〈例示〉を参考

「内容のまとめり」に示されていることから、意図的・計画的に配置

		球技・ゴール型 ① バasketボール・サッカー 選択2クラス2学期 [10]										球技・ネット型 ② バレーボール・テニス選択 2クラス2学期 [8]								球技・ネット型 ③ バレーボール・バドミントン 選択 2クラス2選択 [10]										球技・ベースボール型 ④ ソフトボール①ソフトボール② 2クラス2学期 [12]												球技・ゴール型 ⑤ ハンドボール・サッカー選択 2クラス2学期 [10]										
知識	指導事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
		1. 球技の特性	●										●								●										●												●									
	2. 成り立ち																																																			
	3. 技術の名称や行い方		○	○		○								○	○		○					○	○		○	○						○	○	○	○	○	○							○	○	○		○				
	4. 関連して高まる体力																																																			
技能 ゴール型	1. 守備者がいない位置でシュート		●																																																	
	2. マークされていない見方にパス																																																			
	3. 得点しやすい空間にいる味方にパス																																																			
	4. ボールをキープする																																																			
	・・・略																																																			
	ネット型	略										略								略										略																						
	ベース～型	略										略								略										略																						
思考力・判断力・表現力等	1. 仲間の課題や出来映えを伝える																																																			
	2. 課題に応じた練習方法																																																			
	3. 学習した安全上の留意点を仲間に伝える																																																			
	・・・略																																																			
学びに向かう力、人間性等	1. 積極的に取り組もうとする																																																			
	2. フェアプレイを守ろうとする																																																			
	3. 話合いに参加しようとする																																																			
	・・・略																																																			

●重点指導機会    ○複数回での指導機会    \*評価対象とせず指導する機会

# 学習指導要領解説に示されている体育分野各領域「学びに向かう力、人間性等」における例示の一覧

体づくり運動		器械運動		陸上競技		水泳	
1・2年 (P51)	3年 (P58)	1・2年 (P73~74)	3年 (P83)	1・2年 (P92)	3年 (P99)	1・2年 (P109)	3年 (P117)
・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとすること。	・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとすること。	・器械運動の学習に積極的に取り組もうとすること。	・器械運動の学習に自主的に取り組もうとすること。	・陸上競技の学習に積極的に取り組もうとすること。	・陸上競技の学習に自主的に取り組もうとすること。	・水泳の学習に積極的に取り組もうとすること。	・水泳の学習に自主的に取り組もうとすること。
・仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとする。	・仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合おうとすること。	・よい技や演技に賞賛の声をかけるなど、仲間の努力を認めようとする。	・自己の状況にかかわらず、互いに話し合おうとすること。	・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること。	・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。	・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること。	・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。
・一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする。	・一人一人に応じた動きなどの違いを大切にしようとする。	・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとする。	・仲間の課題を伝え合ったり補助し合ったりして、互いに助け合い教え合おうとすること。	・用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとする。	・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとする。	・用具等の準備や後片付け、計測などの分担した役割を果たそうとする。	・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとする。
・ねらいに応じた行い方などについての話し合いに参加しようとする。	・自己や仲間の課題解決に向けた話し合いに貢献しようとする。	・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする。	・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。	・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする。	・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。	・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする。	・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。
・健康・安全に留意すること。	・健康・安全を確保すること。	・健康・安全に留意すること。	・健康・安全を確保すること。	・健康・安全に留意すること。	・健康・安全を確保すること。	・水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意すること。	・水の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。

愛 公 参 共 協 健・安	球技		武道		ダンス	
	1・2年 (P129)	3年 (P137)	1・2年 (P153)	3年 (P164)	1・2年 (P176)	3年 (P185)
	・球技の学習に積極的に取り組もうとすること。	・球技の学習に自主的に取り組もうとすること。	・武道の学習に積極的に取り組もうとすること。	・武道の学習に自主的に取り組もうとすること。	・ダンスの学習に積極的に取り組もうとすること。	・ダンスの学習に自主的に取り組もうとすること。
	・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとすること。	・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。	・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること。	・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする。	・仲間の手助けをしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとする。	・仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとすること。
	・作戦などについての話し合いに参加しようとする。	・作戦などについての話し合いに貢献しようとする。	・用具等の準備や後片付け、審判などの分担した役割を果たそうとする。	・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとする。	・簡単な作品創作などについての話し合いに参加しようとする。	・作品創作などについての話し合いに貢献しようとする。
	・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとする。	・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとする。	・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする。	・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。	・一人一人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようとする。	・一人一人の違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとする。
・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとする。	・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとすること。	・禁じ技を用いないなど健康・安全に留意すること。	・健康・安全を確保すること。	健康・安全に留意すること。	・健康・安全を確保すること。	
健康・安全に留意すること。	健康・安全を確保すること。					

ページは学習指導要領解説に示されているページ数

**手順3**：内容のまとまりにおける全ての「単元の評価規準」を作成する。  
(解説の〈例示〉の文末を変換)

### ○「知識・技能」のポイント

- ・「知識」については、例示の文末を「～について、言ったり書き出したりしている」あるいは、「～について、学習した具体例を挙げている」として、評価規準を作成する。
- ・前者は一般的に認知された科学的な知識を内容とするもので、各学校や教師の指導によって大きな相違がないものに用いている。後者は、学校や生徒の実態に合わせて、指導する教師により取り扱われる内容に相違が予想されるものに用いている。
- ・「技能」については、例示の文末を「～ができる」として、評価規準を作成する。

### ○「思考・判断・表現」のポイント

- ・「思考・判断・表現」については、例示の文末を「～している」として、評価規準を作成する。

### ○「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

- ・「主体的に学習に取り組む態度」については、意思や意欲を育てるという情意面の例示に対応し「～しようとしている」として評価規準を作成する、ただし、健康・安全に関する例示については、意欲を持つことにとどまらず実践することが求められているものであることから、「～に留意している」「～を確保している」として、評価規準を作成する。

**手順4**：当該單元における「単元の評価規準」を設定する。  
 (手順3で作成したものの中から当該單元における指導事項を踏まえ選ぶなどする)

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識	○技能		
<p>①球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて～</p> <p>②学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて～</p> <p>③球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて～</p> <p>④対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて～</p> <p>⑤球技は、それぞれの型や運動種目によって主として高まる体力要素が異なることについて～</p>	<p>【ボール操作】</p> <p>①ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることが～</p> <p>②マークされていない味方にパスを出すことが～</p> <p>③得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことが～</p> <p>④パスやドリブルなどでボールをキープすることが～</p> <p>【空間に走りこむなどの動き】</p> <p>⑤ボールとゴールが同時に見える場所に立つことが～</p> <p>⑥パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動くことが～</p> <p>⑦ボールを持っている相手をマークすることが～</p> <p>※ネット型、ベースボール型は省略</p>	<p>①提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来栄を伝えて～</p> <p>②提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んで～</p> <p>③学習した安全上の留意点を、他の学習に当てはめ、仲間に伝えて～</p> <p>④練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えて～</p> <p>⑤仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けて～</p> <p>⑥仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けて～</p> <p>⑦体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えて～</p>	<p>①球技の学習に積極的に取り組もうと～</p> <p>②マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうと～</p> <p>③作戦などについての話合いに参加しよう～</p> <p>④一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めよう～</p> <p>⑤練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しよう～</p> <p>⑥健康・安全に留意している。</p>

※文末は省略



手順5：当該單元における具体的な指導内容の明確化を図る。

知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知識	技能		
<p>ゴール型球技は、ドリブルやパスなどのボール操作で相手コートに侵入し、シュートを放ち、一定の時間内に相手チームより多くの得点を競い合うことが楽しい運動である。</p>	<p>ゴール方向に守備者のいない位置に移動した時にシュートを打つこと。</p>	<p>成功例、つまずき例などの事例や、シュート、パス、キープのポイントを提示し、仲間の動きと比較し、伝えること。</p>	<p>仲間の学習を援助することは、自己の能力を高めたり、仲間との連帯感を高めて気持ちよく活動したりすることにつながるという目的に適した仲間との関わり方があること。</p>
<p>①球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり、書き出したりしている。</p>	<p>①ゴール方向に守備者がいない位置でシュートを行うことができる。</p>	<p>①提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えていく。</p>	<p>①練習の補助をしたり、仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</p>

具体的な指導内容

単元の評価規準

手順6：指導と評価の計画を作成する。

単元の目標		時										授業づくりのポイント						
知識及び技能	次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や（成り立ち）、技術の名称や行い方、（その運動に関連して養われる体力）（など）を理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。 ア ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができるようにする。												授業づくりのポイント ・ 指導の指し方、実際の指導の場面を想定し、具体的な指導の言葉や手立てを準備する。 ・ 学習の進捗状況を確認し、必要に応じて指導の手立てを修正する。 ・ 学習の振り返りを行い、学習の成果を確認する。					
思考力・判断力・表現力等	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。																	
学びに向かう力、人間性等	（球技に積極的に取り組むとともに）、（フェアなプレイを守ろうとすること）、（作戦などについての試合に参加しようとする）、（一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする）、仲間の学習を援助しようとする（など）や、健康・安全に気を配ることができるようにする。																	
学習の流れ		0	10	20	30	40	50	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	健康観察・本時のねらいの確認・準備運動																	
	オリエンテーション	ボール操作	ボール操作の反復練習										最終リーグ戦Ⅱ 単元のまとめ					
	シュート	空間に走り込むなどの動き	課題の確認と解決の練習	ゲームⅠの修正														・ 指導の指し方、実際の指導の場面を想定し、具体的な指導の言葉や手立てを準備する。 ・ 学習の進捗状況を確認し、必要に応じて指導の手立てを修正する。 ・ 学習の振り返りを行い、学習の成果を確認する。
	パス	ボールとゴール	○ボール操作 ○空間に走り込む - 練習伝達 - 役割見付け															
	トラップ																	
	ボール慣れゲーム	シュートゲーム	グリッド突破ゲーム	簡易ゲームⅠ														
	ゲーム記録の活用	ゲーム記録の活用	仲間の即時の助言	人数・コート・ルールの簡易化														
	整理運動・学習の振り返り・次時の確認																	
評価の機会		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
知	①	(②)	(②)		②							総合的評価 学習カード 観察、記録 学習カード、観察 観察、学習カード						
技			①		②	③												
思						②	①				③							
態		②		①														
学習活動に即した評価		①球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。 ②球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身につけるためのポイントがあることについて、学習し具体例を挙げている。 ③ゴール方向に空を飛ぶ位置でシュートを打つことができる。 ④構えやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。 ⑤ボールとゴールが同時に見える場所に立つことができる。																
知		①提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ②仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見つけている。 ③仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。																
技		①練習の補助をしたり仲間を助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ②健康・安全に留意している。																
思																		
態																		

【観点別学習状況の評価の進め方】

\*「努力を要する」状況（C）に対しては例えば、評価した結果を具体的な言葉がけなどにより生徒に返して学習の改善を促したり、教師の指導の手立てを修正したりするなど、評価を指導に生かしていくようにする。

\*評価する時期や場面について精選する。

\*必要に応じて形成的な評価をしながら、総括的な評価において最終確認することも考えられる。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価に際しては、単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価するということではなく、各教科等の「主体的に学習に取り組む態度」に係る観点の趣旨に照らして、**知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、**自らの学習を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を評価することが重要である。

### 3 観点の関係において重要なのは？

授業者が上に示された内容を意識した上で、

「・学習内容」

「・指導（学習）方法」

「・評価の方法やタイミング」等

を考えた授業計画が立てられているのかが重要。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
学習の流れ	0	健康観察・準備運動・本時の目標・内容等の確認																
	10	ひと流れの作品づくり								簡単な作品(ひとままとりの作品)づくり								
		オリエンテーション	身近な生活や日常動作				はこびとストーリー				表したい内容のテーマにふさわしいイメージを深めて、変化や起伏のある簡単な作品「はじめ-なか-おわり」(ひとままとりの作品)の構成で表現して踊る。				発表会準備			
	30	発表会	身近な生活や日常動作をテーマに緩急強弱をつけて踊ること。A				変化するように動いて踊ること。B				リレー性のあるはこびで、一番表現したい中心の場面をひと流れの動きで表現して、はじめとなかとおわりを付けて簡単な作品にまとめること。F				発表会			
	40	発表会	グループ間で見せ合い。				グループでの見せ合い。				ペアやグループ間で見せ合い				発表会			
50	整理運動・本時の振り返り																	
知識	①	●																
知識	②		●															
知識	③			●														
技能	①				●													
技能	②					●												
技能	③						●											
思・判・表	①							●										
思・判・表	②								●									
思・判・表	③									●								
態度	①																	
態度	②																	
態度	③																	
評価規準	知識	① ダンスには、身体運動や作品制作に用いられる名称や用語があることについて、学習した具体例を挙げている。																
	知識	② それぞれの踊りには、その踊りの特徴と表現の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。																
	知識	③ それぞれのダンスの交流や発表の仕方には、簡単な作品の見せ合いや発表などがあること、見る人も拍手をしたりリズムをとるなどしたりして交流し合う方法があることについて、学習した具体例を挙げている。																
	技能	① 「出会いと別れ」では、すれ違ったりくっついたり離れたりなどの動きを、緩急強弱を付けて繰り返して表現することができる。																
	技能	② 「大回り-小回り」では、個や群で大きな円や小さな円を描くなどを通して、ダイナミックに空間が変化するように動くことができる。																
技能	③ 気に入ったテーマを選び、ストーリー性のあるはこびで、一番表現したい中心の場面をひと流れの動きで表現して、はじめとおわりを付けて簡単な作品にまとめることができる。																	
思・判・表	① それぞれのダンスに応じて、表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けている。																	
思・判・表	② 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。																	
思・判・表	③ <b>体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともにダンスを楽しむための活動の仕方や修正の仕方を見付けている。</b>																	
思・判・表	④ ダンスの学習成果を踏まえて、自己に適した「する、見る、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。																	
態度	① ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。																	
態度	② <b>一人一人の違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。</b>																	
態度	③ 健康・安全を確保している。																	

指導内容の関連を図る

思：一人一人の違い

態：一人一人の違い

【1時間目(オリエンテーション)】

・前年度の学習をもとに、第3学年では、「自分や仲間のよさを生かして、ダンスを楽しく踊ろう」をねらいとし、その中で、一人一人の違いを大切にしようとすることについて、「なぜこの内容が大切なのか」などの汎用的な知識について指導を行う。指導した内容の理解状況について学習カードから確認する。

【2時間目：評価規準「態度②」観察で評価】

・グループ内で各自が自分の長所を生かした踊りをつくり、それを仲間同士で模倣する体験をすることで、互いの違いを受け入れ尊重しようとしている姿を観察し、評価する。

【9時間目：評価規準「思・判・表現③」記述を評価】

・1、2時間目で取り上げた「一人一人の違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとする」の学習を再度確認し、変化や起伏のある「はじめ-なか-おわり」の構成で簡単な作品を作る活動において、体力や技能、性別の違いを踏まえて、他者の考えを受け入れ、グループの生徒が実現可能な動きを選択したり修正したりすることに関する記述を評価する。

【16時間目】

・本単元で設定した単元の評価規準に基づく全ての評価の最終確認の機会とする。  
 ※評価規準「態度②」に関しても、2時間目に評価して終わり!ではない。

総合的な評価

	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	健康観察・準備運動・本時の目標・内容等の確認														
	ひと流れの作品づくり					簡単な作品（ひとまとまりの作品）づくり									
10	オリエンテーション ・加：自主的 ・加：名称	身近な生活や日常動作	群の動き	はこびとストーリー	表したい内容のテーマにふさわしいイメージを深めて、変化や起伏のある簡単な作品「はじめなか〜おわり」（ひとまとまりの作品）の構成で表現して踊る。	発表会準備									

【1時間目（オリエンテーション）】

・前年度の学習をもとに、第3学年では、「自分や仲間の良さを生かして、ダンスを楽しく踊ろう」をねらいとし、**その中で、一人一人の違いを大切にしよう**とすることについて、「**なぜこの内容が大切なのか**」を指導し、**その中で、一人一人の違いを大切にしよう**とすることについて、「なぜこの内容が大切なのか」を指導し、その中で、一人一人の違いを大切にしようとする

・授業者が【指導と評価を一体的に捉えて】



指導場面や評価機会等を工夫して「指導と評価の計画を作成する」!

# 単元をデザインする力

(学習指導要領及び解説の着実な実施)

学習の流れ

知識

技能

思・判・表

態度

知識

技能

思・判・表

態度

①	それぞれのダンスに応じて、表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けている。
②	健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。
③	<b>体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともにダンスを楽しむための活動の仕方や修正の仕方を見付けている。</b>
④	ダンスの学習成果を踏まえて、自己に適した「する、見る、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。
①	ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。
②	<b>一人一人の違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。</b>
③	健康・安全を確保している。

それを  
入れ尊

や交流、  
確認し、  
作品を  
の考え  
り修正

最終確

本単元で設定した単元の計画規準に基づき、全ての計画の最終確認の機会とする。

例) 評価規準「態度②」に関しても、2時間目に評価して終わり!ではない。

### ア 指導内容や指導方法と関連付けた評価の進め方

答申では「『子供たちにどういった力が身に付いたか』という学習の成果を的確に捉え、教師が指導の改善を図るとともに、子供たち自身が自らの学びを振り返って次の学びに向かうことができるようにするためには、この学習評価の在り方が極めて重要であり、教育課程や学習・指導方法の改善と一貫性を持った形で改善を進めることが求められる」とされている。具体的には、評価のみを単独で捉えるのではなく、「何を教えるのか」「どのように教えるのか」といった、指導する内容や指導方法等と関連付けて評価の進め方を検討することが大切である。

体育分野においては、個に応じた段階的な練習方法の例を示したり、個別学習やグループ別学習、繰り返し学習などの学習活動を取り入れたりするなどのことにより、生徒一人一人が学習内容を確実に身に付けることができるよう配慮した上で、評価を行うことが大切である。

## イ 効果的に観点別学習状況の評価を進める上での観点ごとの留意点

P46

### ○ 「主体的に学習に取り組む態度」

- ・体育分野においては、豊かなスポーツライフを実現することを重視し、従前より学習指導要領に「態度」を内容として示している。また、「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」において、各教科等の目標や内容に対応した学習評価が行われることとされており、各教科等によって、評価の対象に特性があることに留意すること。
- ・例示については、体育分野の学習に関わる「学びに向かう力、人間性等」の具体的な指導事項として示したものであり、各領域において愛好的態度及び健康・安全は共通の指導事項とし、公正（伝統的な行動の仕方）、協力、責任、参画、共生の中から、各領域で取り上げることが効果的かつ具体的な指導事項を重点化して示していること。
- ・例えば、協力の場面や行動の仕方の例などの具体的な知識と、なぜ協力するのかといった協力することの意義などの汎用的な知識を関連させて指導することで、生徒自身の積極性や自主性を促し、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現していく資質・能力の育成を図ること。
- ・自己の最善を尽くして運動をしたり、生涯にわたって運動に親しんだりするなどの運動への愛好的な態度は、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割や責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲や、健康・安全に留意する態度などの具体的な学習を通して育成されるものであると考えられること。

	体つり運動	器械運動	陸上競技	水泳	球技	武道	ダンス
愛好的態度	○	○	○	○	○	○	○
公正 伝統的			○	○	○	○	
協力	○	○	▲	▲	○	▲	○
責任	▲	▲	○	○	▲	○	▲
参画	○				○		○
共生	○	○	○	○	○	○	○
健康・安全	○	○	○	○	○	○	○

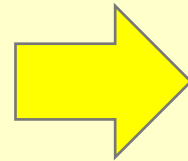
※前のスライドで紹介した表

意識・理解した上での授業づくり！

これらの学習を通して、「粘り強く学習に取り組む態度」や「自ら学習を調整しようとする態度」が相互に関わり合いながら立ち現れ、運動への愛好的な態度が育まれるものと考えられる。

## 【基本】

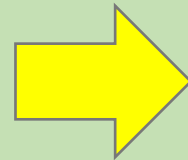
- 知識
- 思考・判断・表現



指導した  
その日に評価



- 技能
- 主体的に学習に  
取り組む態度



育てて評価  
(指導後、ある程度の期間をおいて)





終わり